

第8回茨城県手術看護勉強会

テーマ:手術看護教育

HITACHI
Inspire the Next

教育の基本となるもの

株式会社日立製作所 日立総合病院
手術看護認定看護師 永山 貢

教育について

不安や戸惑い ➡ 自信がないままの手探り ➡ 教育

自分自身の経験が拠り所になるということ



1. 教育についての一般的理解とは
2. 教える人と学ぶ人の関係性
3. 「教える」について
4. 教育的なかかわりの場の特徴
5. 手術室看護師に必要な教育的要素



1. 教育についての一般的理解とは
2. 教える人と学ぶ人の関係性
3. 「教える」について
4. 教育的なかかわりの場の特徴
5. 手術室看護師に必要な教育的要素



1. 教育についての一般的理解とは

「教育」 → 「教える」「育てる」

「教えればいいんでしょ」「育てればいいんでしょ」漠然とした役割の理解

自分が受けた「教育」についての一般的理解に寄りすぎる教育

豊かな「教育」とはいえないものになる



哲学者・教育者：ジョン・デューイ「伝統的な考え方」

➤「準備としての教育」

小学校・中学校で受けた教育(義務教育)は社会に出るための、大人になるための準備

新人看護師 → 一人前の看護師になるための、あるいは独り立ちのための準備

➤「無力なものへの指導」

無力なものを、自分で自分の世話が出来る地点
まで次第に高めていく

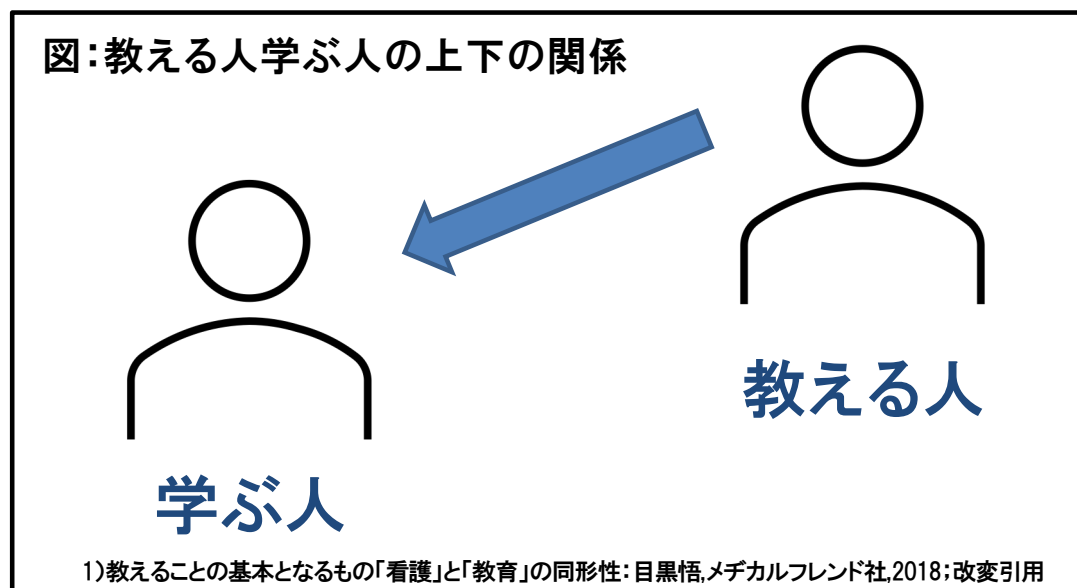


1. 教育についての一般的理解とは
- 2. 教える人と学ぶ人の上下の関係**
3. 「教える」について
4. 教育的なかかわりの場の特徴
5. 手術室看護師に必要な教育的要素



教える人と学ぶ人の上下の関係

「準備としての教育」「無力な者への指導」: 大人から幼い子どもに対して行われる



上から目線で関わるのが教育だという誤解も生まれる

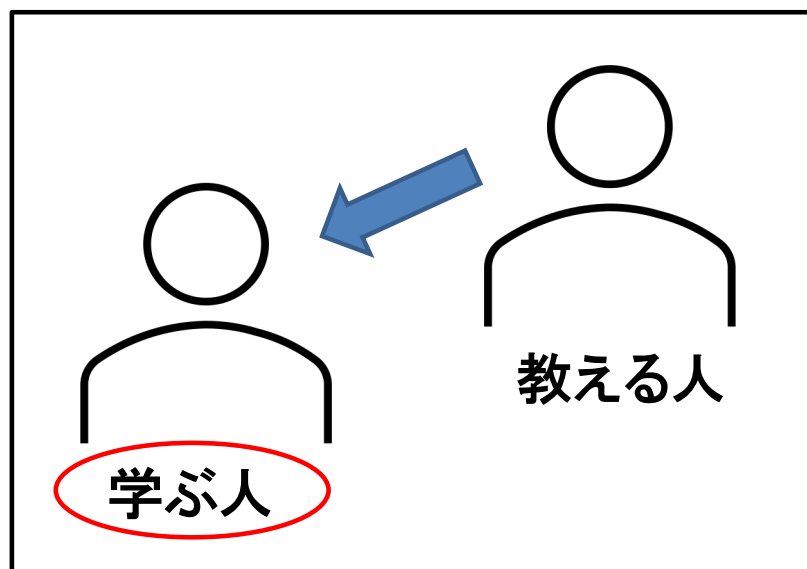


人というのは、多くの場合、何らかの手段や組織の中で生きていることを
方向づけされる生き物



組織・集団





1) 教えることの基本となるもの「看護」と「教育」の同形性: 目黒悟, メディカルフレンド社, 2018; 改変引用

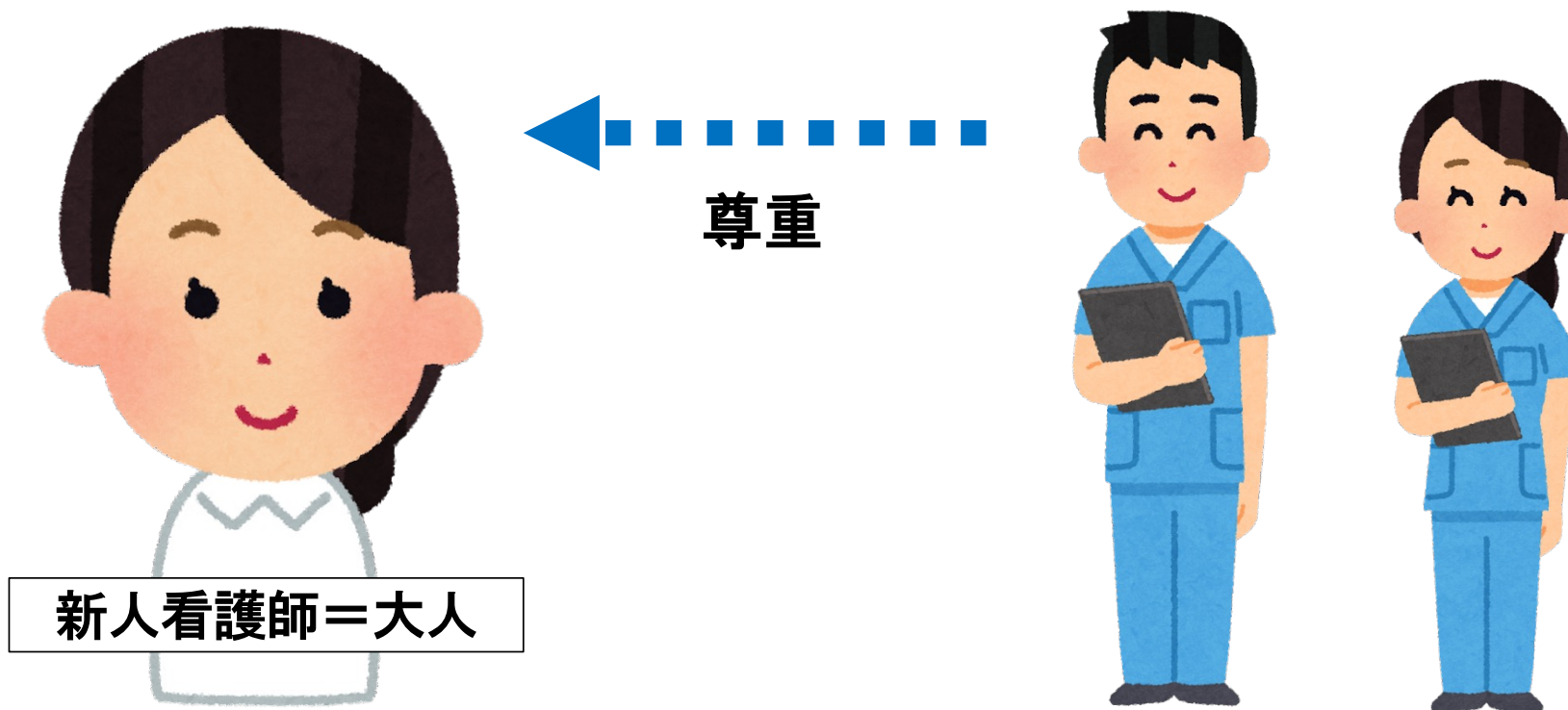
- 「学ぶ人」が学んでくれないことには、教えたことになっていないという理解が足りない
- 相手が学び初めて、こちらは教えたことになる

これだけ教えて
やってるのに



ちっともできない





- 一人の人間として対等な目線で向き合うこと
- 人の学びや育ちを支えるような関わり(サーバントリーダーシップ)

上から目線の関わり
はいけない

なにをどうすれば
いいの？

教えるってどういうこと？

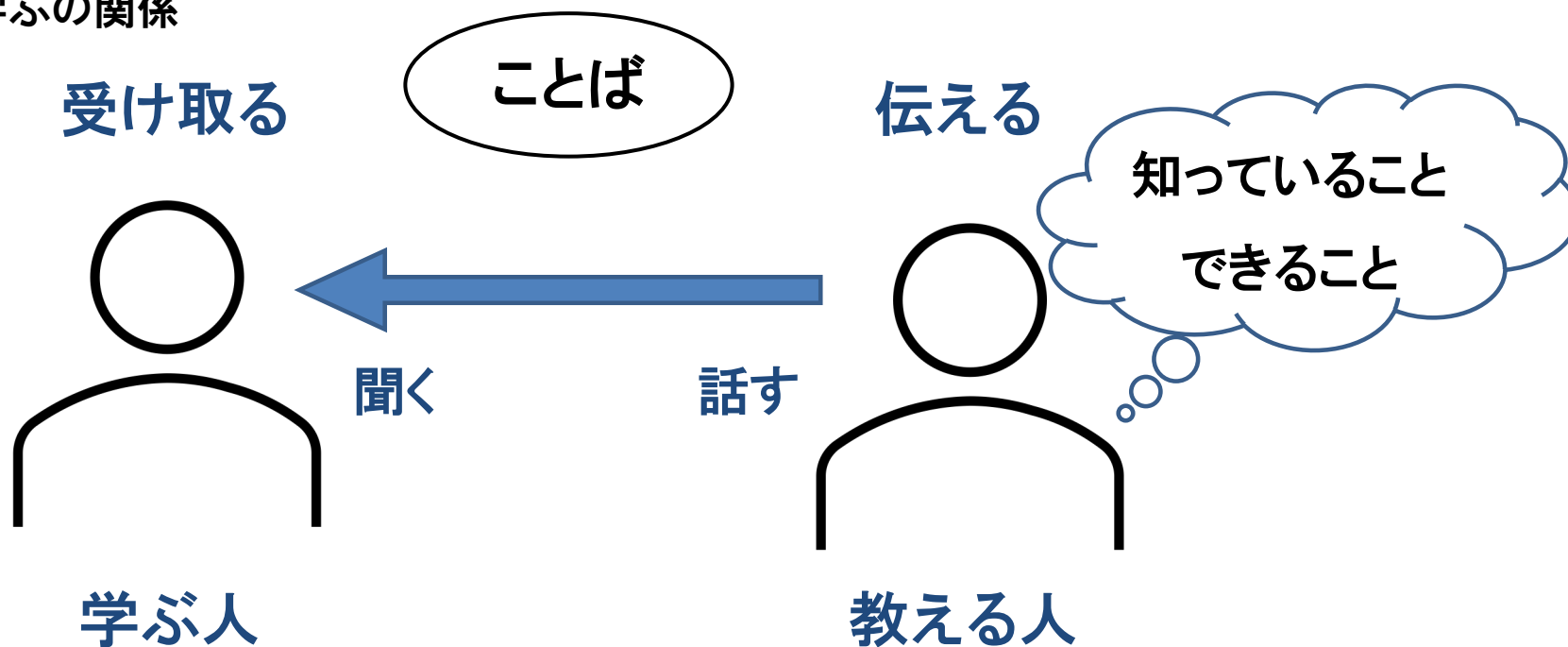


1. 教育についての一般的理解とは
2. 教える人と学ぶ人の上下の関係
- 3. 「教える」について**
4. 教育的なかかわりの場の特徴
5. 手術室看護師に必要な教育的要素



いわゆる「教える」とは

図：教える—学ぶの関係



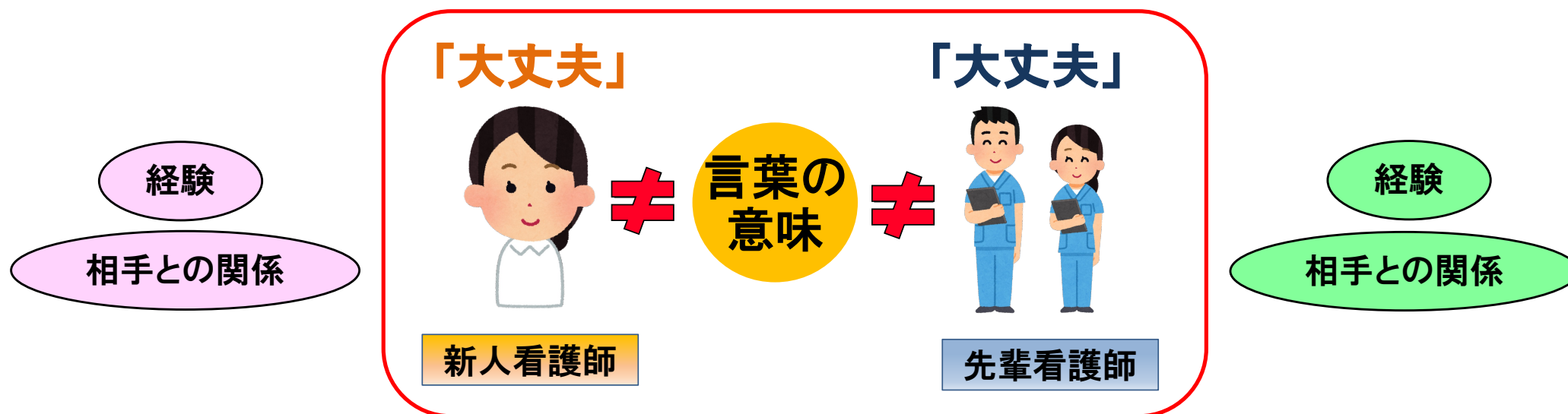
1)教えることの基本となるもの「看護」と「教育」の同形性：目黒悟,メヂカルフレンド社,2018;改変引用

あくまでも一般的理解

図にないある前提が必要



「ことば」に注目して「教える」を考える



➤ 経験やその人の立ち位置によって「ことば」の意味は異なる

➤ 「個別性」→ものの見方、考え方、感じ方が違う



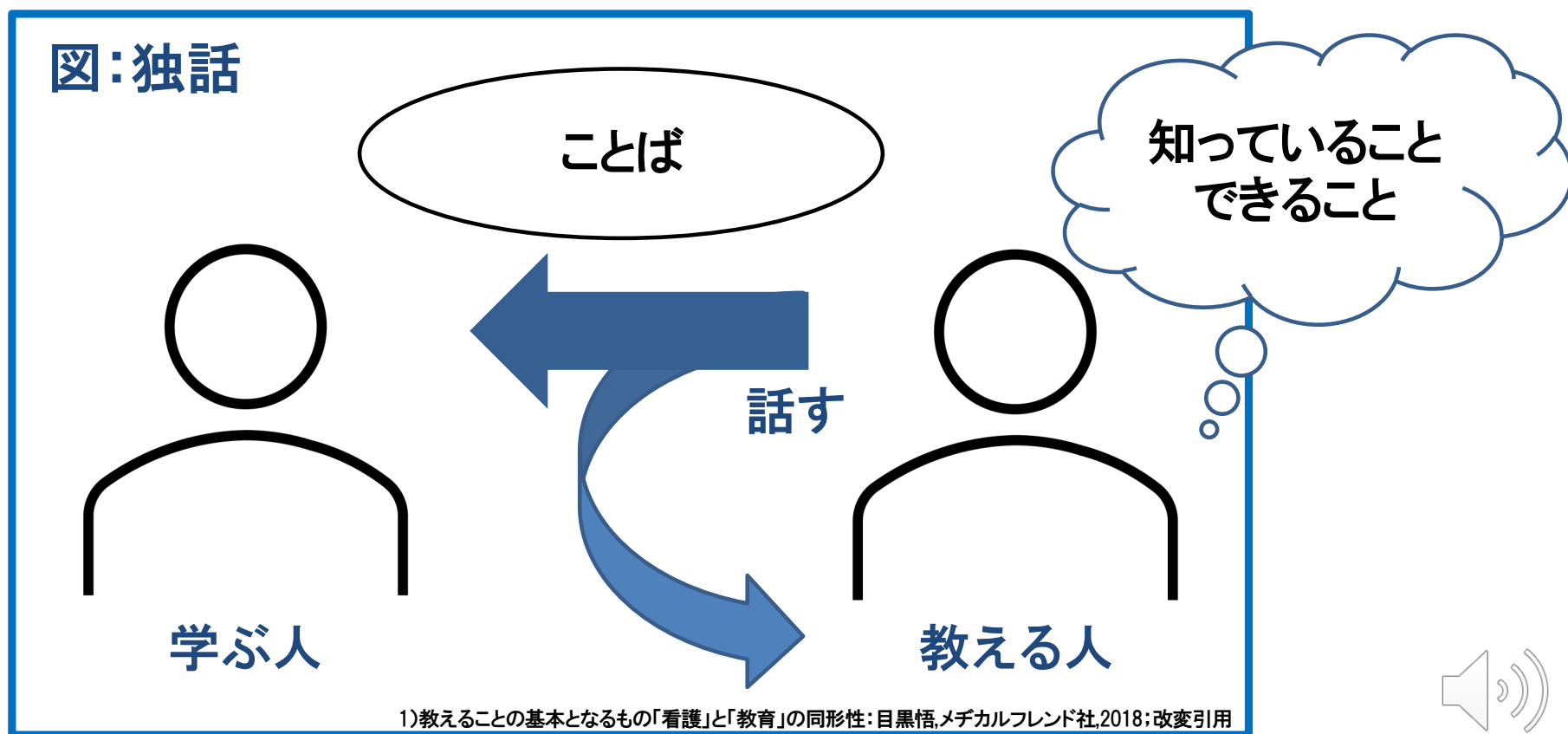
~~個性~~

自分のことばは
相手に伝わって当然



独話

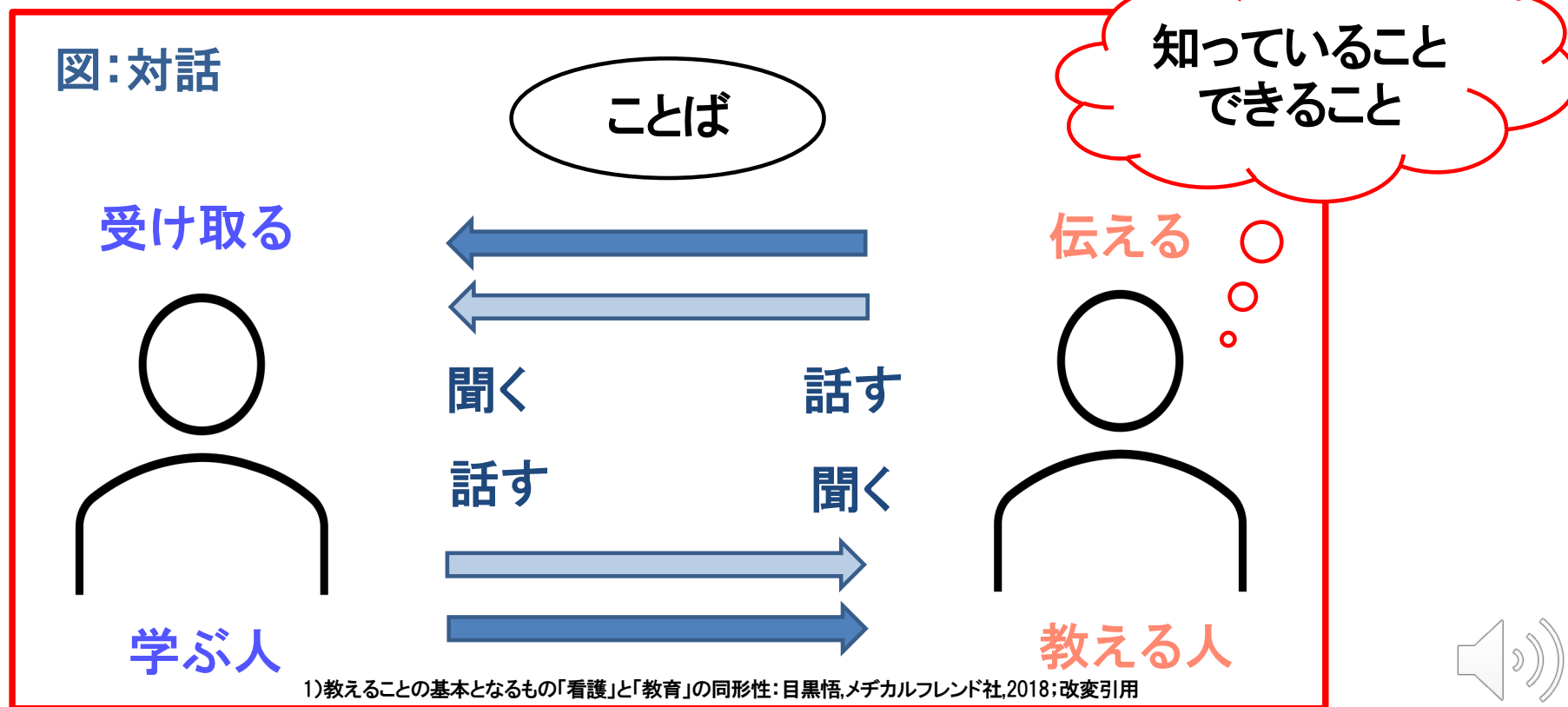
図：独話



教える人と学ぶ人の間で、
絶えず応答が繰り返される状態



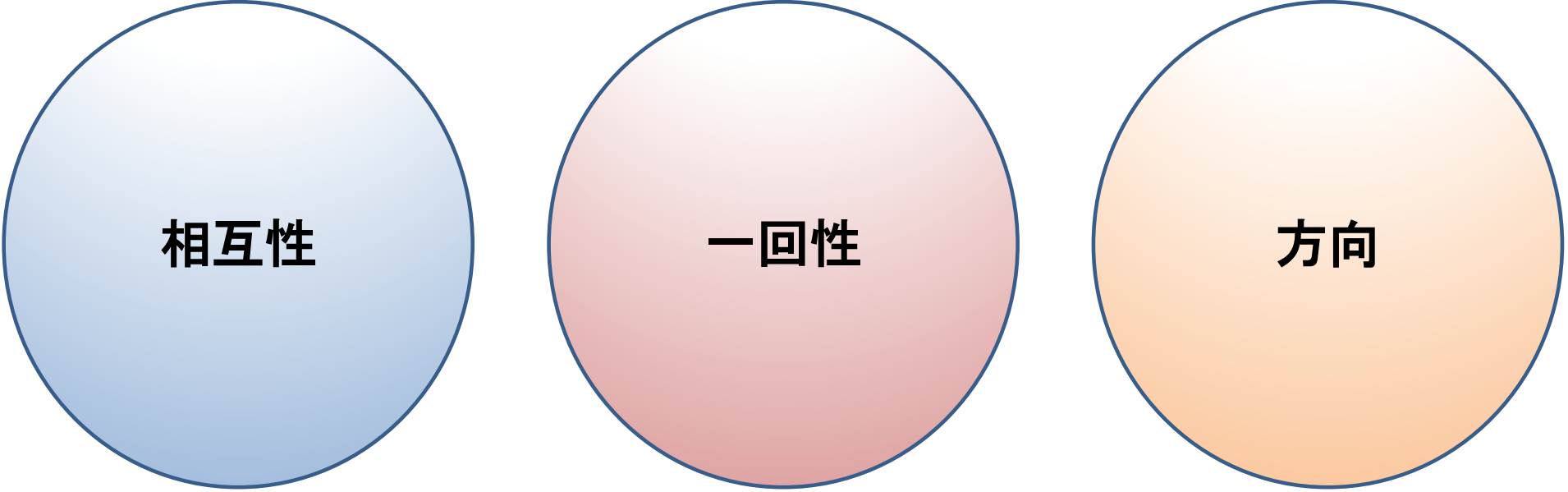
対話



1. 教育についての一般的理解とは
2. 教える人と学ぶ人の上下の関係
3. 「教える」について
- 4. 教育的なかかわりの場の特徴**
5. 手術室看護師に必要な教育的要素



2.教育的なかかわりの場の特徴



相互性

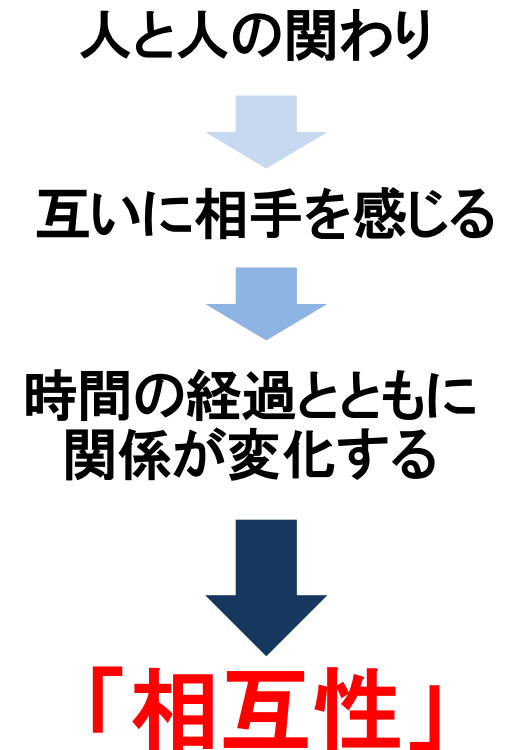
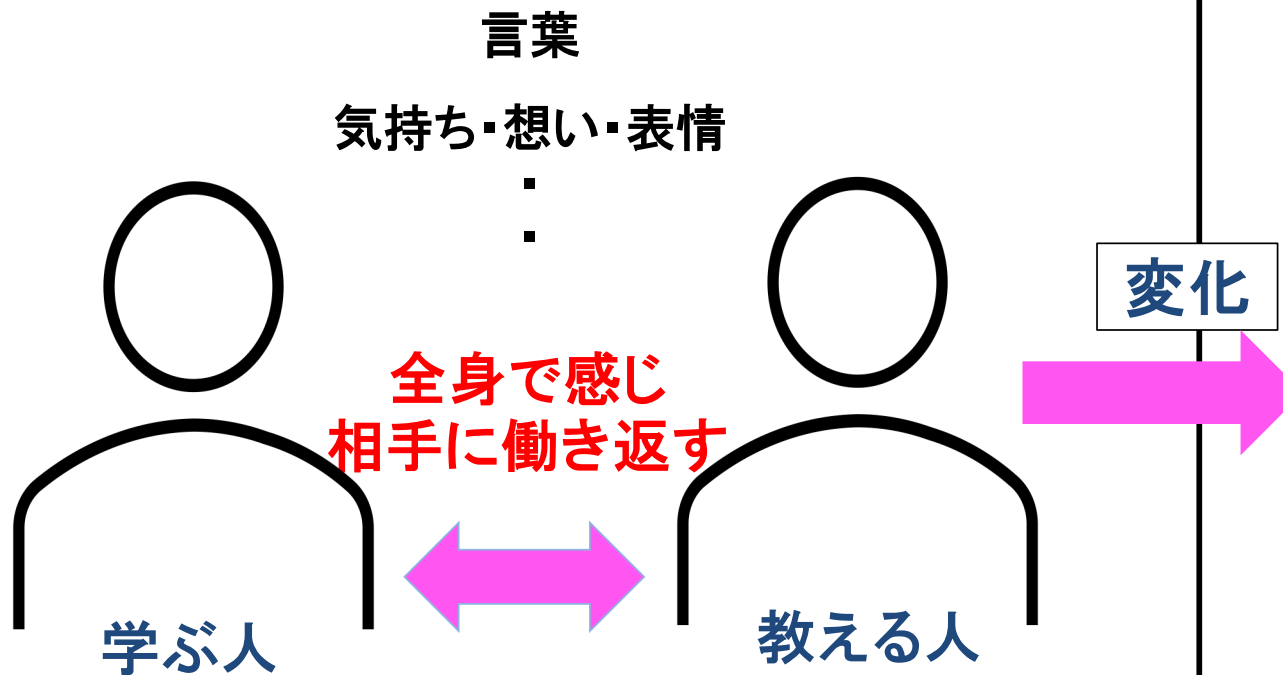
一回性

方向

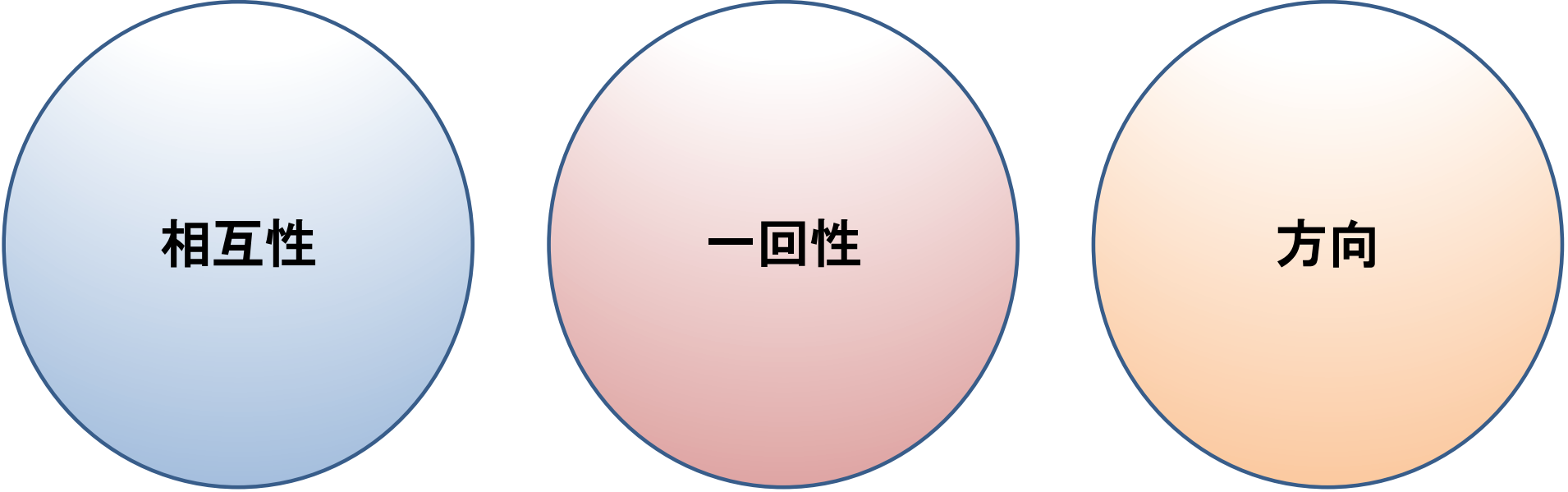


「教育的かかわり」の場 **相互性**

図：相互性の場



2.教育的なかかわりの場の特徴



相互性

一回性

方向



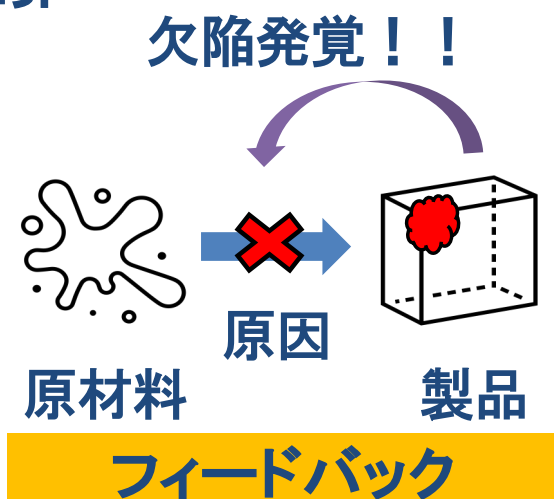
「教育的なかかわり」の場 一回生

HITACHI
Inspire the Next

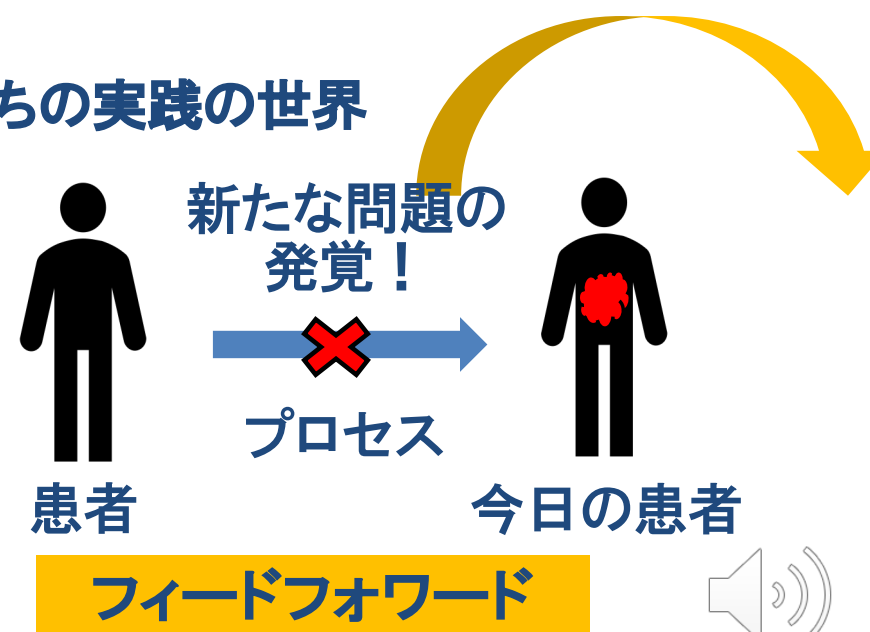
教育的な場の特徴 → 自分と相手に経験される「一回性」の場

そこで起きていることをあとになってどんなに後悔しても、
時間を戻してもう一度やり直すことができない → 「一回性」 ことばの重み

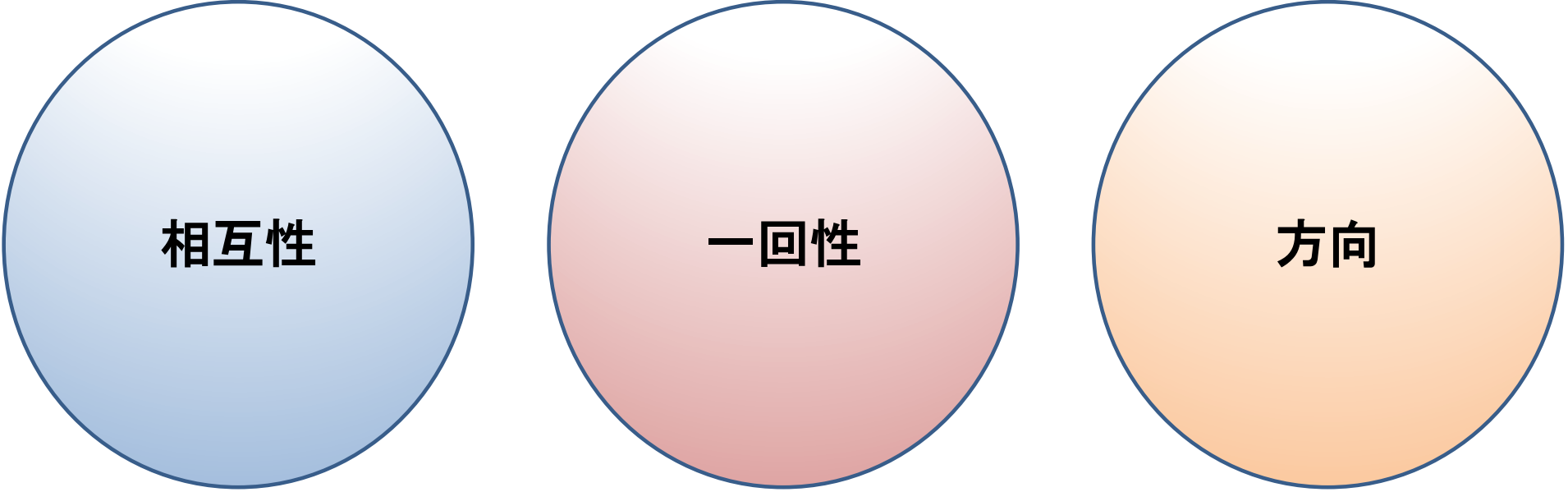
物作りの世界



私たちの実践の世界



2.教育的なかかわりの場の特徴



相互性

一回性

方向



「方向」 → 「ねがい」

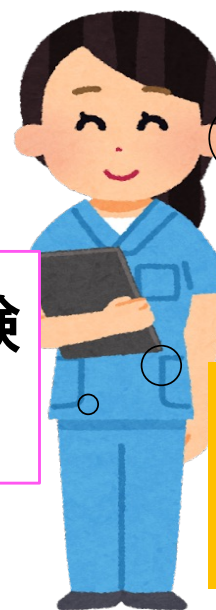
教える人としての自分自身の「ねがい」

こういう経験を
してほしい、学んでほしい

“期待や思い”
という意味
「ねがい」



臨床経験
看護観



こういうことを大切にしながら
関わっていききたい

“ありたい自分の姿”
という意味
「ねがい」



1. 教育についての一般的理解とは
2. 教える人と学ぶ人の上下の関係
3. 「教える」について
4. 教育的なかかわりの場の特徴
- 5. 手術室看護師に必要な教育的要素**



手術室看護師に必要な教育的要素

- ノンテクニカルスキル
- ナラティブ

医療チーム

看護を実感できない



手術室看護師に必要な教育的要素

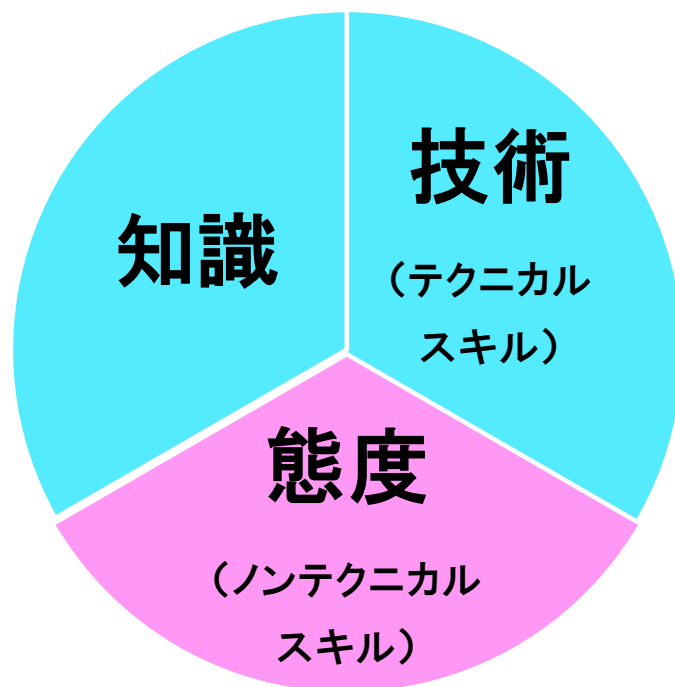
➤ ノンテクニカルスキル

➤ ナラティブ



ノンテクニカルスキルは、

- 人と人の関係性を重視した**認知的/社会的なスキル**→ヒューマンスキル
- **テクニカルスキル(専門技術)**を補って**完全なものとする**



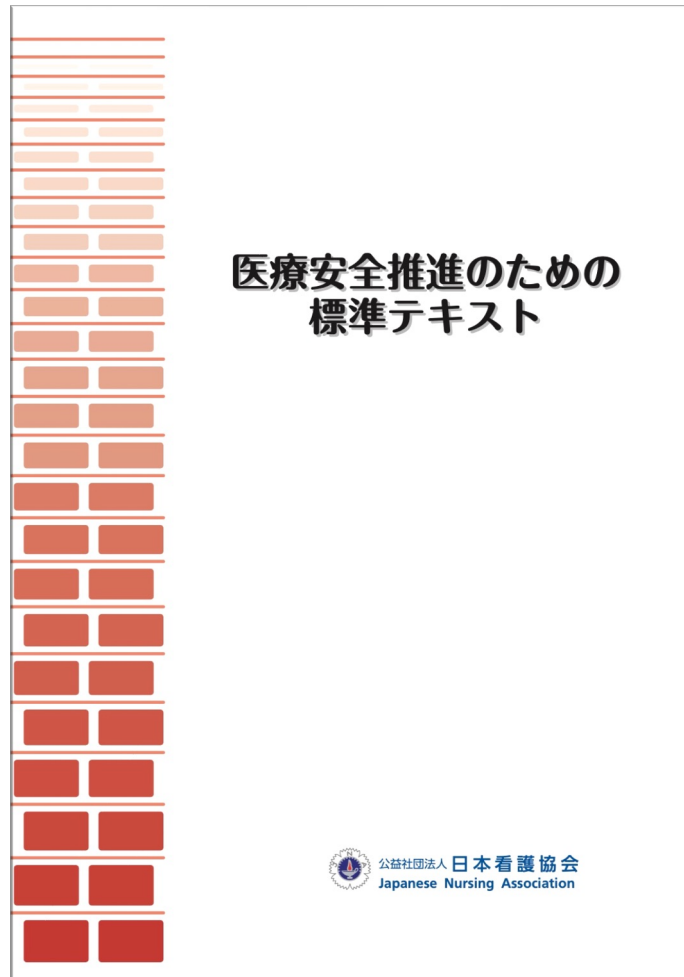
知識・技術・態度は
互いに関連し合っている



7つのノンテクニカルスキル

1. 状況認識
2. 意思決定
3. コミュニケーション
4. チームワーク
5. リーダーシップ
6. 疲労管理
7. ストレス管理





安全や質を担保するためには、
コミュニケーションやリーダーシップ、
意思決定、状況認識などの
「**ノンテクニカルスキル**」の向上が
重要であり、
職種や経験の壁を越え、
チームの一員として
これらの能力を強化し、
実践することが必要である
(日本看護協会,2013,p7)

2) 日本看護協会 医療安全推進のための標準テキスト
<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/text.pdf>.





手術に関わる医療スタッフが身につけるべき
2つのスキル

➤ 専門的な知識と技術(テクニカルスキル)の
研鑽

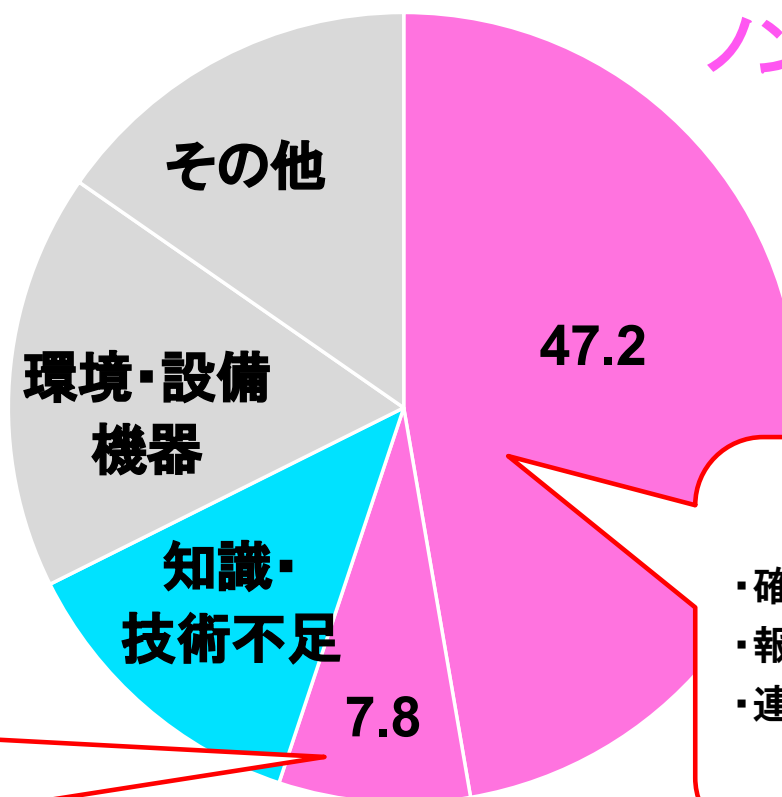
➤ ノンテクニカルスキル

3) 手術医療の実践ガイドライン, 日本手術医学会誌2019, 手術医療の実践ガイドライン改訂第三版準備委員会(改訂第三版)



医療事故発生要因(2020年)

医療事故の半数以上が
ノンテクニカルスキル不足



・通常とは異なる
身体的・心理的
条件下にあった
(ストレス・疲労対処)

- ・確認・観察を怠った(状況認識)
- ・報告が遅れた(コミュニケーション)
- ・連携ができていなかった(チームワーク)

ノンテクニカルスキルを向上させる取り組み

**社会人基礎力:「前に踏み出す力」
「考え抜く力」「チームで働く力」
3つの能力と(12の能力要素)**

**社会人基礎力:「人と人との関係の中でしか
人間は育たない」**

**ノンテクニカルスキル:人と人の関係性を
重視した認知的・社会的スキル**

6)看護職としての社会人基礎力の育て方:箕浦とき子・高橋恵,日本看護協会出版,第2版,,2021:改変引用

レベルと役割概要				I (新人・概ね1年) 上期			
社会人基礎力				アソシエイトナースとしての基礎を確立する(指導を受けながら基準、手順に沿う日常看護)	自己評価	主任評価	師長評価
り強く取り組む し、一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む	(前に踏み出す力 (アクション))	主体性	物事に進んで取り組む力/指示待ちではなく自らやるべきことをみつける力	①あいさつや仕事の準備・かたづけを自ら進んでしている			
		働きかける力	他人に働きかけ、巻き込む力/やろうと呼びかけ目的に向かう力	②自分のできていること、できていないことを受け止めて、説明している※※			
		実行力	目的を設定し、確実に行動する力/失敗を恐れず行動に移し粘り強い	③同僚が困っている時に、私にできることはないか声かけている			
疑問を 持ち、 考え 抜く力！	(考える力 (シンキング))	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにする力	①わからないことは人に聞いたり、本で調べたり、手順を調べている			
		計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力	②与えられた課題について計画をたてている			
		創造力	新しい価値を生み出す力/既存の発想にとらわれない	③看護部の方針、セクションの特徴と大切にしている看護の双方から、患者・家族に看護の役割を説明している			
多様な人々とともに、目標に向	(チームで働く力 (チームワーク))	発信力	自分の意思をわかりやすく伝える力	①チームカンファレンスなどで発言している			
		傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	②患者・家族の苦情や不平に対してその真意を理解しようとしている			
		柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力/自分のルールややり方に固執しないで相手を尊重する	③セクション方針、目標決定の背景について自分の理解が正しいか質問している			
		情報把握力	自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力	④セクション内での「報告、連絡、相談」の関係性について説明できる			
		規律性	社会のルールや人との約束を守る力	⑤提出期限や指示された時間を守っている			
		ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力/ポジティブにとらえて肩の力を抜く	⑥翌日のことを考え、体調を整える工夫をしている			
決定レベル			合計点数 最高得点 36	合計点数 最高得点 36			

手術室看護師に必要な教育的要素

- ノンテクニカルスキル
- ナラティブ



ナラティブを取り入れる意義

HITACHI
Inspire the Next



手術室看護師の
看護実践
言葉にする機会少ない



手術は「問題なく終わることが当然」
看護を「省察する必要性を感じない？」



© Hitachi, Ltd. 2015. All rights reserved.

佐藤⁷⁾は、「成人である看護師は『教育される人』ではなく、『経験から学び続ける人』として存在している。

(中略)看護実践家としての日々の仕事を専門家として省察することであり、(中略)『わかりたい、知りたい』という、体験を経験化するプロセスを歩み続けることであろう」



日々の実践した看護
ナラティブを用いて省察・内省する機会是有用



ナラティブを取り入れることの効果(メリット)

省察・内省することによる実践の質向上

省察:「みずから省みて考えめぐらすこと」

内省:「深く自己をかえりみること。反省」
(広辞苑無料検索-Sora)

看護の省察・内省とは

看護師が行なった看護の内容、自身の状態、環境などを振り返ること

土藏⁸⁾は、「携わった手術や業務について、今日1日の実践を振り返り、うまくいかなかった部分を確認して、自分がどうすればよかったか内省し、新しい発見は何だったのかを記憶して積み重ねることが、次の繰り返し実践の質を向上させることになる」

省察・内省を行うことにより成長につながる



言語化することによる**実践的知識の獲得**

- 形式知: 文章や数式、図などで説明できる知識
- 暗黙知: 経験や勘、簡単に言語化できない知識

ナラティブ



「物語」であり、経験を語ること

暗黙知 → 形式知

省察・内省するためには・・・

自分の看護を振り返り、言語化されていない看護を言語化する必要がある。

ベナー看護論⁹⁾

「専門分野の実践で知識を発展させるためには、臨床経験で身についた現存の実践的知識を系統的に記録し、一方で、その知識を理論に基づいて科学的に検証することで、実践的知識を拡大していく必要がある」

実践的知識の習得につながる



ナラティブの取り入れ方

ナラティブを行うには・・・

自分の行動を振り返り、その内容を思考や感情を含め限りなく言語化することが必要

例) 麻酔看護で勉強し得た知識・技術、検査データの読み方、患者との
かかわりなど

心に残ったことなどを言葉にして、よかった点・次回の目標を発表する

- 自分が大切にしている看護(看護観・倫理観)
- 既存の知識の具体化



山口¹⁰⁾は「手術看護の真髄は教科書にあるものではなく、
臨床で実際に患者を看護する看護師の中にある。」



引用参考文献

- 1)教えることの基本となるもの「看護」と「教育」の同形性:目黒悟,メヂカルフレンド社,2018
- 2)日本看護協会 医療安全推進のための標準テキスト<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/text.pdf>【アクセス:2022.5.17】
- 3)手術医療の実践ガイドライン,日本手術医学会誌2019,手術医療の実践ガイドライン改訂第三版準備委員会(改訂第三版)<http://jaom.kenkyuukai.jp/images/sys/information/20210616135951-48BD57DC717273CD728785686C6592D9FF323FBF97D4BAC7ECA952EB16C01D2B.pdf>【アクセス2022.5.17】
- 4)WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版
https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/44641/9789241501958_jpn.pdf?sequence=3【アクセス2022.5.17】
- 5)公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業
<https://www.med-safe.jp/contents/report/html/nennzi/2020/index.html>【アクセス2022.5.17】
- 6)看護職としての社会人基礎力の育て方:箕浦とき子・高橋恵,日本看護協会出版,第2版,,2021
- 7)手術看護にナラティブを取り入れようー実践知の探求ー,OPE nurseing,Vol24,No.51
https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=ao7opnui/2009/002412/006&name=1265-1267j&UserID=1100003835-02&base=jamass_pdf【アクセス2022.5.23】
- 8)手術看護にみる匠の技:土蔵愛子,東京医学社,2012
- 9)ベナー看護論 新訳版,初心者から達人へ;パトリシア・ベナー,医学書院,2005
- 10)手術看護エキスパート,日総研,第13号巻,第3号,2019



HITACHI
Inspire the Next[^]

